



日本刀 オモテとウラの世界



会期：令和2年10月24日(土)～12月24日(木)

※の作品は、10/24～11/23は表側を、11/25～12/24は裏側を展示します。

No.	指定・認定	作品名／作者	法量	制作時代	所蔵者
日本刀のオモテとは？ウラとは？					
1	重要文化財	太刀 銘 正恒	78.5cm	鎌倉時代初期	刀剣博物館
2		黒漆太刀拵		南北朝時代末期～室町時代初期	刀剣博物館
3	重要刀剣	刀 銘 国広	69.7cm	桃山時代	個人蔵
4		黒漆研出拵糸巻朱銀蛭巻鞘打刀拵 鐔 銘 安親 縁 銘 (花押)		江戸時代中期	刀剣博物館
※5	重要文化財	太刀 銘 備前国住人雲次 正和三年十月日	78.8cm	鎌倉時代末期(1315年)	刀剣博物館
※6	重要美術品	刀 銘 備前国住長船与三左衛門尉祐定作 天文三年二月吉日	70.2cm	室町時代後期(1535年)	刀剣博物館
薙刀と槍のオモテとは？ウラとは？					
7		薙刀 銘 越前国下坂	51.1cm	江戸時代初期	刀剣博物館
※8		笹穂槍 銘 法城寺越前守橘正照 貞享三年八月吉日	17.0cm	江戸時代前期(1686年)	刀剣博物館
※9		大身槍 銘 加賀国住人隅谷正峯 苔口仙琇彫之(金象嵌・花押) 謹呈鈴木嘉定先生刀剣博物館竣工記念 昭和丁未霜月吉日 迫日本号寒山(花押)	79.3cm	昭和時代(1967年)	刀剣博物館
10		青貝螺鈿鞘柄違い鷹の羽紋散金具大身槍拵 広井信一		昭和時代(1967年)	刀剣博物館
掟からの逸脱					
11	特別重要刀剣	太刀 銘 次忠	84.9cm	鎌倉時代前期	個人蔵
※12	重要美術品	太刀 銘 豊後国行平作(再刃) 元久二年二月日	83.5cm	鎌倉時代初期(1205年)	個人蔵
13	重要美術品	太刀 銘 来国俊 元亨元年十二月日	72.7cm	鎌倉時代末期(1321年)	刀剣博物館
14	重要刀剣	刀 銘 肥前一文字出羽守行広	71.1cm	江戸時代前期	刀剣博物館
日本刀のオモテとウラー造込み					
※15		短刀 銘 越前国康継 本多飛驒守所持内 なんはんかね三条こち迫	30.0cm	桃山時代	個人蔵

No.	指定・認定	作品名／作者	法量	制作時代	所蔵者
※16	重要美術品	刀 銘 国安	69.1cm	桃山時代	個人蔵
※17		脇指 銘 国正	43.0cm	江戸時代初期	刀剣博物館
※18		脇指 銘 越中富山船橋住宇多国次 於武州江戸造之	50.8cm	江戸時代前期	個人蔵

日本刀のオモテとウラー地鉄

※19		脇指 銘 日本鍛冶宗匠三品近江守金行 和泉守兼之	39.4cm	江戸時代末期	個人蔵
-----	--	-----------------------------	--------	--------	-----

日本刀のオモテとウラー刃文

20		太刀 銘 包永(名物 兎手柏包永) (切付銘) 兵部大輔藤孝磨上之異名号兎手柏 天正二年三月十三日	69.1cm	鎌倉時代後期	公益財団法人 徳川ミュージアム
21		兎手柏包永押形軸 今村長賀 筆		明治時代	個人蔵
22	重要美術品	太刀 銘 吉平	71.5cm	鎌倉時代中期	個人蔵
23	重要美術品	刀 無銘 伝国俊	72.6cm	鎌倉時代中期	個人蔵
24		脇指 銘 肥後守国康	51.6cm	江戸時代前期	個人蔵
25	重要刀剣	刀 銘 村正	68.2cm	室町時代後期	個人蔵

日本刀のオモテとウラー彫物

※26		脇指 銘 長谷部国信	33.5cm	南北朝時代	個人蔵
※27	重要刀剣	脇指 銘 肥忠吉 剝物藤原宗長	39.2cm	桃山時代	個人蔵
28		短刀 銘 大日本ミノセキ善定家真勢子兼吉 小坂金兵衛ト号ス 岐阜県武儀郡関町万屋町 彫□細工寛勘兵エ	28.5cm	明治時代	個人蔵

モノから見えるウラの世界ー制作背景

※29		脇指 銘 (葵紋)康継 文久三癸亥年八月 恭奉台命□精誠作之 (附)古鞘	50.0cm	江戸時代末期(1863年)	個人蔵
※30	重要刀剣	刀 銘 稜威尾羽張 先師清磨為信友昌磨主欲作神劔積貯地鉄 廿年焉終不果委于我而辞世故繼其志誓大神慎造之 後世必有神靈灼然矣 藤原清人	73.5cm	江戸時代末期	個人蔵

※31		刀 銘 於浜御殿地藤原是一作之(運寿是一) 天保十四年卯九月日 御腰物奉行勤役中 御進献御太刀之影乞求之小倉十兵衛源正房蔵	70.8cm	江戸時代後期(1843年)	個人蔵
刀装のおモテとウラー分解					
32		黒蠟色水割文螺鈿鞘打刀拵 鐔 銘 知広 縁 銘 竜雲斎 良延造是 筭 銘 寿延作之 栗形 銘 孔叟		江戸時代後期	刀剣博物館
刀装具にみる昼夜の世界					
33		粟穂図鐔 銘 吟松亭東明(花押)		江戸時代後期	個人蔵
34		秋草図 銘 良親造之		江戸時代後期	個人蔵
35		牡丹喰獅子図目貫 金割短冊銘 田邊・伴正		江戸時代後期	個人蔵
36		追儼図目貫 割際端銘 夏・雄		江戸時代末期	個人蔵
おモテとウラがつむぐ刀装具の世界					
37	特別重要刀装具	福祿寿図鐔 銘 宗珉(花押)		江戸時代中期	個人蔵
38		魚子鑿 宮島宏		平成時代	個人蔵
39		三月節句図目貫 割際端銘 春明・法眼 裏銘 (花押)		江戸時代後期	個人蔵
40		雀海中入って蛤となる図鐔 銘 知広		江戸時代後期	刀剣博物館
モノから見えるウラの世界ー刀剣文化と江戸人					
41		鞘塗見本		江戸時代後期	個人蔵
42	重要刀装具	宇治川先陣図縁頭 縁 銘 利寿(花押) 頭 (金象嵌銘) 阿佐美君得利寿作宇治 川縁妙不可言需托余副 重忠則副是寿叟(花押)		(縁)江戸時代中期 (頭)江戸時代後期	個人蔵
モノから見えるウラの世界ー絵師と金工師					
43		雲龍図軸 木村深元 筆		江戸時代中～後期	個人蔵
44		雲龍図鐔 銘 稲田矩中(花押)		江戸時代後期	個人蔵
45		雲龍図鐔 銘 高熊軒 皆善坊(花押) 文政六癸未歳 十二月中旬彫		江戸時代後期(1823年)	個人蔵
46		雲龍図鐔 銘 薩州通啓作 八月吉日		江戸時代後期	個人蔵
47		雲龍図大小鐔 銘 大 瀬戸口長道 小 瀬戸口長道彫之		江戸時代後期	個人蔵
刀装具制作のウラ側ー下絵					
48		金工下画		江戸時代末期	刀剣博物館

No.	指定・認定	作品名／作者	法量	制作時代	所蔵者
49		細画図式 葛飾為齋 筆		江戸時代末期(1864年)	刀剣博物館
刀装具制作のウラ側—技法					
50		目貫制作工程見本 安藤薩雄		昭和時代	刀剣博物館
51		色上げ見本 宮島進二郎		平成時代	刀剣博物館
石堂運寿是一の人生					
52		石堂家由緒書		江戸時代末期(1860年)	刀剣博物館
53		石堂家由緒書		江戸時代末期(1868年)	刀剣博物館
54		親類書		江戸時代後期(1842年)	刀剣博物館
55		改名願		明治時代(1877年)	刀剣博物館
56		石堂家戸籍簿		明治時代(1897年)	刀剣博物館
幕末動乱期を生きた刀鍛冶					
57		刀剣注文簿 大隅守広光		江戸時代末期	刀剣博物館
58		奥州会藩和泉守兼之 脇指 銘 元治元年八月於皇都造之 為藤原長義朝臣	34.0cm	江戸時代末期(1864年)	刀剣博物館
試し切りの世界					
59		様斬秘書		江戸時代	刀剣博物館
60		様斬下げ札 山田浅右衛門吉睦 筆		江戸時代後期	刀剣博物館
61		古今鍛冶備考 山田浅右衛門吉睦 筆		江戸時代後期(1830年)	刀剣博物館
62		切柄		時代不詳	刀剣博物館
甲冑の裏側					
63		色々威二枚胴具足		江戸時代初期	刀剣博物館
オモテとウラの世界					
64	特別出品	復元コロタイプ複製 尾形光琳 筆 「風神雷神図屏風」 株式会社便利堂 酒井抱一 筆 「夏秋草図屏風」		平成時代(2015年)	京都府

◆出品番号と展示の順番は異なるものがありますのでご了承ください。

次回展示

特別展「埋忠〈UMETADA〉桃山刀剣界の雄」
2021年1月9日(土)～2月21日(日)



刀剣博物館
The Japanese Sword Museum